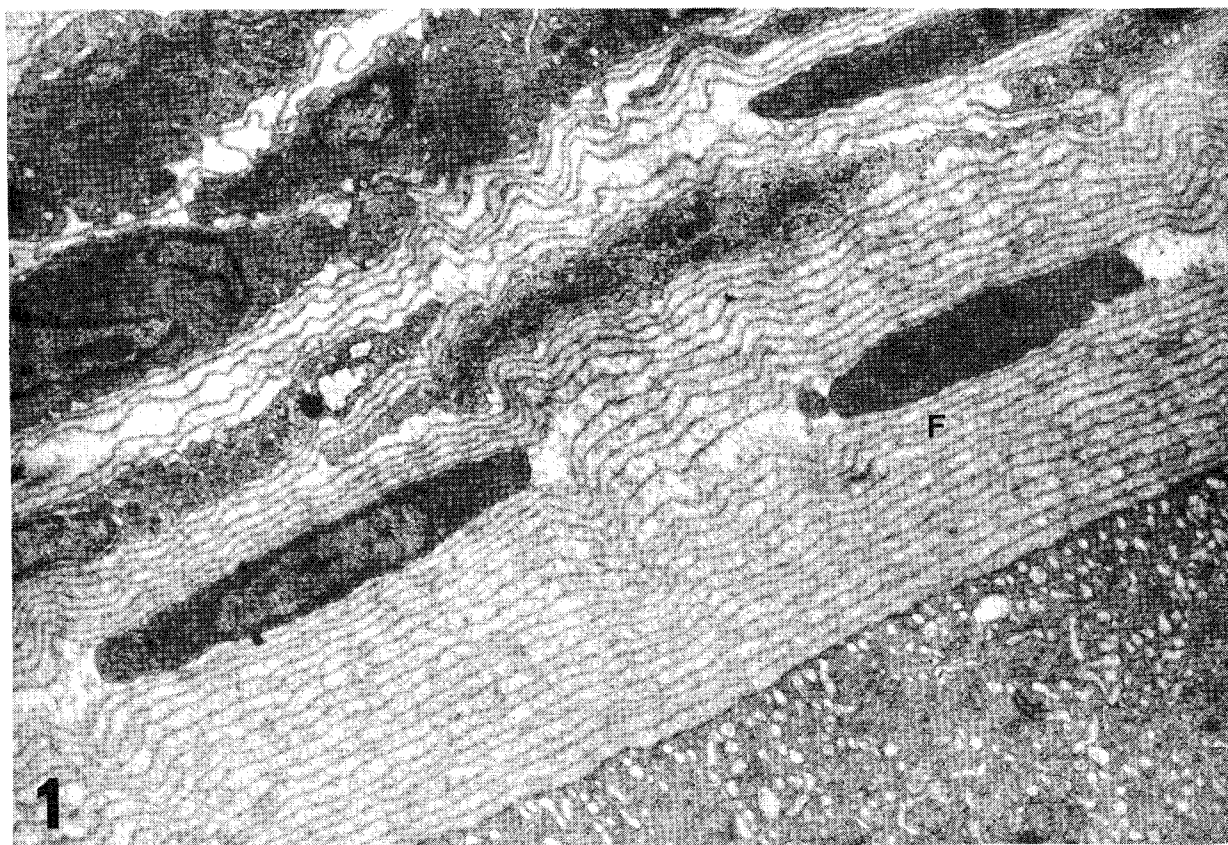


補稿写真説明

付図1 グルタルアルデヒドとオスミウム酸の2重固定，エポン包埋，酢酸ウランと鉛の2重染色による“グルゲアシスト”の4つの構成部分（本文第Ⅲ章第3説参照）のうちのPAS染色陽性の膜。光学顕微鏡で観察された場合にはPAS染色の陽性の無構造な膜として認められるが，この電子顕微鏡の写真では，繊維芽細胞（Fb）が認められる。すなわち，“シスト”の孢子形成層の外側の層は，すべて宿主反応によって形成されたものである。

付図2 グルタルアルデヒドとパラホルムアルデヒドの混合液とオスミウム酸の2重固定，ヴェストパールW包埋，酢酸ウランと鉛の2重染色によるスポロゴニー胞膜。（なをこの写真はポジの複製による）。

補稿写真 (付図 1~4)



付図3 グルタルアルデヒドとアクロレインの混合液と過マンガン酸カリ溶液の2重固定，ヴェストパールW包埋，酢酸ウランと鉛の2重染色による，宿主細胞核（N）と孢子形成過程像。生活史の各段階，（d）シズント，（g）スポロント，（h）スポロントの2分裂，（i）スポロblast，（j）初期の孢子と極糸の形成，（k）中期の孢子，（l）完熟孢子。

付図4 グルタルアルデヒドとアクロレイン混合液と過マンガン酸カリ溶液の2重固定，ヴェストパールW包埋，酢酸ウランと鉛の2重染色による完熟前の孢子。2重の被膜（M），3重層構造の極糸（F）とその先端部分の電子密度の高い部分（Fr），核（Ns），小胞体様構造物（R），電子密度の高い顆粒状構造物（G），渦状構造物（W）。（なお，この写真はポジの複製による）。

